

第2回菊川水系黒沢川流域水害対策協議会 議事要旨

日 時：令和8年8月18日（火）13:15～14:50

場 所：菊川文化会館アエル 小ホール

1. 開会 2. 議事

(1) 第2回幹事会の報告

事務局より第2回協議会までの状況及び第2回幹事会での意見内容について説明し、了承された。

(2) 菊川水系黒沢川流域水害対策計画（素案）について

事務局より菊川水系黒沢川流域水害対策計画（素案）について説明した。

各委員からいただいた意見は以下のとおり。

- ・ 目標降雨について、気候変動を考慮した 1/20 確率となっているが、具体的にどのような数字になるのか。
目標降雨については、1/20 確率雨量が流域平均雨量なのか、観測雨量なのかによっても異なるため、明確にしておくとうい。
- ・ 降雨の整理については、1 時間降水量、10 分間降水量などで統計処理しているため、それに併せて整理して頂けるとよい。
⇒（事務局）具体的な数字については、整理したうえで後日回答させていただきたい。
- ・ 雨水浸透阻害行為について、一般住民や事業者にはどのように周知しているのか。
⇒（事務局）指定の際に不動産業界や宅建協会など関係者へ説明しており、事業者には宅建協会から説明していただいている。また、具体的な開発が行われる際は、菊川市の都市計画部局に相談することになるが、そこで雨水浸透阻害行為に該当するのかわを確認し、申請の案内をしている状況である。
- ・ 本文内にある「関係機関」と「関係者」の使い分けはどうしているのか。
⇒（事務局）「関係機関」は規約の構成員に加え、静岡地方気象台と農林水産省関東農政局を加えた機関を指し、「関係者」は一般住民も含めた全員を指している。
- ・ ソフト対策について、説明資料では多くの情報を記載しているが、計画素案の本文では「リスクコミュニケーションの充実」として簡単なまとめとなっている。ぜひ計画素案の本文にも具体的な取り組みを記載いただきたい。
⇒（事務局）計画素案の本文にも記載する。
- ・ 都市浸水想定の結果についてハード整備の実施前と実施後の違いが分かりにくいのではないのか。
⇒（事務局）個別家屋の対策等により床上浸水の解消を目指している。黒沢川流域は内水被害を受けやすい流域であり、効果の示し方について工夫する。
- ・ ため池による事前放流時の雨量の情報伝達方法はどのようなになっているのか。
⇒（菊川市）降雨時に静岡地方気象台から菊川市の危機管理部局に連絡が入り、それに基づき市役所で防災体制を整えている。その際、必要に応じて危機管理部局から、ため池の管理者に依頼をしている。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局より今後のスケジュールについて説明し、了承された。

(4) その他

事務局より本日欠席の農林水産省関東農政局からは意見がない旨を事前に連絡いただいていることを報告した。

3. 閉会